

したに過ぎない。その後の変化についても追跡調査をしたいと考えている。

謝辞

ここで用いた資料は「大隅地区大気環境調査報告書」（鹿児島県，昭和51年）および「志布志地区（現地気象）調査結果報告書」（通商産業省，鹿児島県，昭和52年）を利用した。また，環境濃度については鹿児島県環境局より提供していただいた。関係各位に深く感謝します。

文 献

鎌田政明，1975：火山活動と地球環境，火山，20，特別号，355-362.

鎌田政明，大田一也，1978：桜島火山南岳からのSO<sub>2</sub>の放出量，第2回桜島火山の集中総合観測（別冊），98-104.

小坂丈予，平林順一，小沢竹二郎，君島克憲，1978：桜島火山噴出ガス成分の連続測定と活動状況の推定，第2回桜島火山の集中総合観測（別冊），68-80.

坂上治郎（私信）

Randerson, D., 1977: Quantitative analysis of atmospheric pollution phenomena, NASA Spec. Publ., Skylab explores the Earth, 381-404.

山本 晋，蒲生 稔，横山長之，1975：飛行機による乱流観測の誤差の補正方法，公害，10，259-270.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第24回国際地理学会議 (気候関係)	昭和55年9月1日～4日	国際地理学連合 (IGU)	全共連会館 都市センターホール
月例会「大気数値シミュレーション」	昭和55年9月3日	日本気象学会	東大海洋研究所
第17回自然災害科学総合シンポジウム	昭和55年10月20日～21日		名古屋大学農学部
昭和55年日本気象学会秋季大会	昭和55年10月29日～31日	日本気象学会	京都教育文化センター
第6回リモートセンシングシンポジウム	昭和55年11月18日～19日	計測自動制御学会	国立教育会館
第18回粉体に関する討論会	昭和55年11月27日～29日	日本化学会ほか	豊橋技術科学大学
第27回風に関するシンポジウム	昭和55年12月9日		気象研究所講堂